

花たば通信

ボランティア 元気な内は人のため いつか自分が感謝する



No.81 2019年1月号

発行 NPO花たば
〒657-0831 神戸市灘区水道筋 6-7-14
電話 078-801-6632 FAX 078-801-6780

[NPO花たば](#) 検索

新年

おめでとう

ございます

亥

二〇一九年



コミュニティハウス花たば十周年の昨年は、皆様のご協力をいただき、多くの記念事業を成功させることができました。心から感謝申し上げます。

心新たに迎える二〇一九年はNPO花たばの次期中期目標を検討していくこととなります。「互いが互いを尊重して、こころ豊かに暮らしていける」住宅であり地域社会をつくるために、初心を大切に活動し、発信していきたいと思えます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

NPO花たば 理事長 須見恭子

理事一同

コミュニティハウス花たば管理員一同



年末バザー、多くの皆様のご協力を得て大盛況！
ありがとうございました。

= 10周年祝賀会 =

11月18日(土) 81人の参加をいただき神戸北野の六甲荘にて開催しました。コミュニティハウス花たば入居の皆さんも参加され、みんなで作り上げてきたコミュニティハウスの10年をこれからも暮らしやすく、また集える場所であろうと思いを新たにする一日になりました。



＝ブンゴード孝子さん講演会＝

11月4日（日）、ブンゴード孝子さんをお招きして記念講演会を開催しました。集会室とお茶処花たばスペースを埋めて60人を超える皆さんがブンゴード孝子さんの話に聞き入りました。NPO花たば設立当初から私たちの活動に理解を持って、折に触れ参考になるお話をしてくれたブンゴードさん。「私も終の棲家を自分のこととして準備する年齢になりましたよ」と前置き。デンマークにおける事情とあわせ、花たばのこれからについて「ぶれずに」進むことの大切さを指摘されました。なお当日午前中は理事会との交流会を、講演会終了後はひょうごん、ひょうごん福祉ネット等の関係者との交流会も行われ様々な人が刺激を受けた一日となりました。



講演要旨

●高齢者は社会の重荷ではなく貢献者！

デンマークの高齢者の今

納税伸び率 65~74歳 60%UP (15~64歳) 35%UP

可処分所得 65~74歳 73%UP (15~64歳) 42%UP

※旅行・余暇への消費が増え、医・薬への消費は減少

* 人的資源のレベルアップ（教育）

* 人的資源のフル活用（男女とも働く、良い労働環境）

* 人的資源を大切に（公共福祉・医療の整備）

この積み重ねがデンマークの今を作り、支えている。

● 高齢者の地域ネットワークづくりの「要」エルドラセイエンはデンマーク人口の12%にあたる75万人を組織し全国217の支部が訪問の友、付き添いの友、法律悩み相談をはじめ、様々なボランティア活動を展開している。ゆりかごから墓場まで、国民の教育の場を大切にする国の方針は、高齢期であっても変わらず保障されておりボランティア活動など生活の場で活かされている。さらに高齢者政策にも意見を持ち発信している。

● 高齢期を生きる人々の考え方は「生きて自分を生かす」

* 自分らしい人生を自分で決めて最後まで

* 介護はプロに

* 出来る限り自分の家で

* 老衰は病気ではない

* 本人の希望優先

私も第3の人生を歩き始めました。花たばの皆さんの「自分を大切にしたい明日」に期待します！

案内板

お茶処花たば

- 1月7日から通常営業

お昼の定食 月・火・水・金（第5週は喫茶のみ）
木曜日はサンドウィッチ 200円

お茶処の定番 コーヒー・紅茶 100円 アイスクリーム 100円
トースト 100円 ぜんざい 200円

- これからのイベント情報



毎月第2木曜日（原則）午後2時から

お茶とお菓子付き300円

* 1月17日（木）コーラス

* 2月13日（水）ギター演奏



新年の花たば

* コミュニティハウス花たば事務所 1月4日（金）～通常勤務

1月3日まで祝日体制（9時～13時）

* ほっと花たば 1月7日（月）～通常営業

* ネット花たば 1月7日（月）～通常開設

編集後記 2018年を示す漢字が「災」。地震、台風、集中豪雨と相次ぎました。犠牲になられた方を思うと言葉もありません。せめても家屋を補修したいという最低限の願いも個々人の責任となれば思うに任せず、ブルーシートのまま年越しの地域も多くあります。阪神淡路大震災を経験し「公的な支援なくして生活の復旧・復興はない」と痛感してきたものにとって、教訓はいつ生かされるのかと悔しく思います。南海地震が近い将来に起きる可能性が高まっているといわれる中、災いが自然のそれを増幅することのないようにと思わずにいられません。ブンゴード孝子さんのお話を聞いていつも思うのです。「自分を生き切る」ことを支える公的保障が何より優先される国の形を求めエルドラセイエンのような活動と、民主的な意見の積み重ねが大切だなと。戦争・内戦が続く国もあります。弱者に厳しい自己責任論も広がっています。生きることが何より大事、2019年が「幸」「福」の字となりますように。(H.O)